

令和8年度 第1学年
生活科 評価規準

江戸川区立西一之江小学校

月	単元名	時数	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	がっこうのことがしりたいな	4	学校の施設の位置や使い方に気付いている。	幼児期の教育で使っていた施設との共通点を探しながら、学校の中を歩いている。	
	みんなとなかよくになりたいな	4	学校の友達の存在やよさに気付いている。		友達と学校生活を過ごすことの楽しさを実感し、一緒に遊びや学習をしていこうとしている。
4 5	ともだちとがっこうをたんけんしよう	5	学校の施設の特徴に気付いている。		友達の行った施設の情報と自分の思いを照らし合わせて、探検に行きたい場所を選んでいる。
	たねをまこう	2	たねの色や形、大きさなどの特徴に気付いている。	幼児期や日常での経験に思いを巡らせて、育てる植物を決めたり、たねのまき方を決めたりしている。	
	がっこうにいるひととなかよくなろう	2	学校にいる人々の働きや役割に気付いている。	友達の行った施設の情報と自分の思いを照らし合わせて、探検に行きたい場所を選んでいる。	

月	単元名	時数	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	せわを しょう	2	自分の育てている植物が成長していることに気付いている。	友達の育てている植物や身近な植物と比較しながら、世話の仕方を選んでいる。	きれいな花を咲かせたいという思いをもち、試行錯誤しながら植物の世話をしようとしている。
6	こうていで くさばなや むしを さがそう	2	動植物や風、光の特徴など、校庭の自然の様子に気付いている。		校庭の自然と関わりたいという思いをもち、全身を使って夏の動植物や自然の特徴を探そうとしている。
	みんなの こうえんで あそぼう	3	公園は、いろいろな人が使う場所であることや、利用方法やきまりが存在していることなどに気付いている。		
	あめあがりの こうていを たんけんしょう	2	天候の変化に合わせて、身近な自然の様子が変化することに気付いている	晴れの日と雨の日の自然の样子の差異点を探しながら、雨上がりの校庭を探検している。	
7	せわをつづけよう	3	花が咲くまで、大切に世話を続けてきた自分や、友達のよさに気付いている。	作品をつくったり、絵や文で表現したりして、花の美しさや開花の喜びを伝えている。	

月	単元名	時数	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
7	みずで あそぼう	3	身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりして、遊びを創り出すことの面白さに気付いている。	これまでの経験から、自分のおもちゃの動きや遊び方を想像し、いろいろな遊びを楽しんでいる。	夏の自然と関わりたいという思いをもち、いろいろな遊びを繰り返し、夏の自然を楽しもうとしている。
	はなの ようすをつたえよう	2	自分が世話をしたことで、植物がきれいな花を咲かせたことに気付いている。	植物の成長の様子に見通しをもって、開花への期待を話したりかいたりしている。	
8	たのしかった ことを つたえよう	2	夏の自然を生かして自分たちで遊びを創り出す楽しさを実感し、これからも身近な自然で楽しく遊ぼうとしている。		校庭などにいる虫などの生き物に関心をもち、それらを観察したり、捕まえたりしようとしている。
9	たねを とろう	3	植物が一つのたねからたくさんのたねを増やし、生命をつないでいることに気付いている。		植物の世話を続けられた自分の成長を実感し、これからも植物を育てていこうとしている。
	むしを さがそう	3	校庭の虫の特徴や育つ場所に気付いている。	これまでの経験から世話の仕方を想像し、世話の仕方を決めている。	

月	単元名	時数	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
9	むしと なかよく なろう	3	虫が変化していることや、生命をもっていることに気付いている。	餌やりや掃除などをしながら虫の様子を観察し、虫に合わせた世話をしている	虫の様子に応じて世話の仕方を変えることの大切さを実感し、これからも生き物を大切にしようとしている。
10	あきを さがそう	3	色や形、においなど、秋の校庭の自然の様子と、夏の校庭の自然の様子との違いに気付いている。	幼児期や日常の経験を思い起こして、秋の自然の特徴を探している。	
	どうぶつとなかよくなろう	5	小動物が生命をもっていることを実感し、生き物に親しみをもち、大切にしようとしている。	小動物の立場に立って世話の仕方を決め、世話をしている。	小動物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。
	こうていで あきを さがそう	3	色や形、においなど、秋の校庭の自然の様子と、夏の校庭の自然の様子との違いに気付いている。	幼児期や日常の経験を思い起こして、秋の自然の特徴を探している。	
11	はっぱや みで あそぼう	4		秋の自然物を使うと、どんな遊びになりそうかを想像しながら、遊びに使う自然物を選んでいる。	秋の自然と関わりたいという思いをもち、試行錯誤しながら、秋の自然を生かした遊びを楽しもうとしている。

月	単元名	時数	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	こうえんで あきを さがそう	2	身近な自然の様子が、夏から秋になって変化していることに気付いている。		秋の自然の変化を予想して、夏の自然との違いを探している。
	いっしょに あそぼう	4	自分が遊びを創り出したことで、みんなが楽しく遊ぶことができるようになったことに気付いている。		自分で遊びを創り出す面白さを実感し、これからも遊びを創り出そうとしている。
12	あきの おもちゃをつくろう	3	いつも同じ現象が起こるなど、自然の中に一定のきまりがあることに気付いている。	さまざまな自然物を試しながら比べ、材料を選び、おもちゃをつくっている。	
	あきの ことを つたえよう	2	季節によって楽しめる遊びが変わるなど、季節によって生活の様子が変わること気付いている。		季節を生かして遊ぶことに楽しさと手応えを感じ、これからも季節の遊びを楽しもうとしている。
	じぶんの いちにちを みつめよう	3	家庭において、自分が家の人に支えられていることに気付いている。	自分の生活と比較しながら、家の人の生活を見たり聞いたりしている。	

月	単元名	時数	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	じぶんで できる ことを し よう	2	公園には、みんなが気持ちよく利用できるように、掃除をしたり、管理したりしてくれる人がいることに気付いている。	みんなが気持ちよく利用できるように、公園には、どのような工夫や約束があるかを考え、友達や先生と話している。	
1	こうていで ふゆを さがそ う	3	風を利用して遊ぶおもちゃをつくり出せる面白さや、風によって起こる現象の不思議さに気付いている。		季節の自然と関わりたいという思いをもち、冬の特徴を生かして楽しく遊ぼうとしている。
	むかしから つたわる あそ びを たのしもう	3	地域の人と関わったり触れ合ったりすることのよさに気付いている。		
	そとで あそぼう	3		自然現象を生かしたおもちゃで繰り返し遊び、原因を探りながらおもちゃを改良したり、遊びを発展させたりしている。	自然の現象の中に、一定のきまりがあることに気付いている。
2	ふゆの ことを つたえよう	3	季節に合わせて、自然の様子や生活の様子が変化していくことに気付いている。		季節の変化に合わせて身近な自然の様子や生活の様子が変わることを実感し、これからは季節に合わせて自分の生活を楽しくしていこうとしている。

月	単元名	時数	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2	いちねんかんを ふりかえろう	6	友達と仲良く遊べるようになったことなど、自分の内面的な成長に気付いている。	入学した頃の自分と、今の自分を比較して、自分のできるようになったことを探したり、実際にやってみたりしている。	
3	ありがとう わたしたちのきょうしつ	6	自分の成長は、周囲の人々に支えられていることに気付いている。	自分の成長と、周囲の人々の存在を関連付け、支えてくれた人々がいることについて話している。	周囲の人々に支えられ、自分が1年間成長してきたことを実感し、2年生への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。
	もうすぐ2年生	2	入学してからの1年間を振り返り、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどに気付いている。	入学してからの1年間を振り返り、1年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりしている。	これまでの成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。